

授業計画(シラバス)

科目名	建築計画	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築計画】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科 I 建築計画	気候・空気/熱
	2	学科 I 建築計画	光/音
	3	学科 I 建築計画	色彩/計画原論・用語・単位
	4	学科 I 建築計画	住宅建築/商業建築
	5	学科 I 建築計画	公共/各部計画
	6	学科 I 建築計画	建築生産/都市計画
	7	学科 I 建築計画	空気調和設備/給排水衛生設備
	8	学科 I 建築計画	電気・照明/消火・消防設備・省エネ
	9	学科 I 建築計画	厳選問題
	10	学科 I 建築計画	厳選問題
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	建築法規	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築法規】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅱ 建築法規	用語の定義/確認申請・建築手続
	2	学科Ⅱ 建築法規	面積・高さ等の算定/一般構造
	3	学科Ⅱ 建築法規	耐火・防火/防火地域・準防火地域・防火区画
	4	学科Ⅱ 建築法規	避難施設・内装制限/構造計算・構造強度
	5	学科Ⅱ 建築法規	敷地等と道路・用途地域/建蔽率・容積率・高さ制限
	6	学科Ⅱ 建築法規	日影規制・雑則・その他/建築士法
	7	学科Ⅱ 建築法規	高齢者、障害者等の移動等の円滑化
	8	学科Ⅱ 建築法規	耐震改修の促進・住宅の品質確保
	9	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅱ
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	建築構造	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築構造】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅲ 建築構造	力のつり合い/反力
	2	学科Ⅲ 建築構造	応力/トラス
	3	学科Ⅲ 建築構造	断面の性質/座屈
	4	学科Ⅲ 建築構造	応力度/荷重・外力
	5	学科Ⅲ 建築構造	地盤・基礎/木造
	6	学科Ⅲ 建築構造	鉄筋コンクリート/壁構造
	7	学科Ⅲ 建築構造	鉄骨造
	8	学科Ⅲ 建築構造	構造計画
	9	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅱ
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	建築施工	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築施工】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅳ 建築施工	契約/施工計画
	2	学科Ⅳ 建築施工	管理計画/仮設工事
	3	学科Ⅳ 建築施工	地盤・土工事・基礎/鉄筋工事
	4	学科Ⅳ 建築施工	型枠工事/コンクリート工事
	5	学科Ⅳ 建築施工	鉄骨工事/コンクリートブロック
	6	学科Ⅳ 建築施工	木工事/防水工事・左官工事・タイル工事
	7	学科Ⅳ 建築施工	塗装工事・建具・ガラス工事
	8	学科Ⅳ 建築施工	内装工事・改修工事
	9	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅳ 建築施工	厳選問題Ⅱ
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築計画 I	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築計画】の基本を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	学科 I【計画】	都市計画
	2	学科 I【計画】	居住施設
	3	学科 I【計画】	学校教育施設
	4	学科 I【計画】	社会教育施設
	5	学科 I【計画】	医療施設
	6	学科 I【計画】	高齢者施設
	7	学科 I【計画】	商業施設
	8	学科 I【計画】	細部計画
	9	学科 I【計画】	防災・避難
	10	学科 I【計画】	建築積算
	11	学科 I【計画】	マネジメント
	12	学科 I【計画】	重要ポイント・厳選問題
	13	学科 I【計画】	重要ポイント・厳選問題
	14	学科 I【計画】	重要ポイント・厳選問題
	15	学科 I【計画】	重要ポイント・厳選問題
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級環境設備 I	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【環境設備】の基本を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	学科Ⅱ【環境・設備】	日照・日射
	2	学科Ⅱ【環境・設備】	採光・照明
	3	学科Ⅱ【環境・設備】	色彩
	4	学科Ⅱ【環境・設備】	室内気候と気象
	5	学科Ⅱ【環境・設備】	換気
	6	学科Ⅱ【環境・設備】	熱・結露
	7	学科Ⅱ【環境・設備】	音響
	8	学科Ⅱ【環境・設備】	空気調和設備
	9	学科Ⅱ【環境・設備】	省エネルギー・保全・管理
	10	学科Ⅱ【環境・設備】	給排水・衛生設備
	11	学科Ⅱ【環境・設備】	電気設備
	12	学科Ⅱ【環境・設備】	消防・防災設備
	13	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題
	14	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題
	15	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築法規 I	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築法規】の基本を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	学科Ⅲ【法規】	用語の定義
	2	学科Ⅲ【法規】	面積・高さ等の算定方法
	3	学科Ⅲ【法規】	制度規定
	4	学科Ⅲ【法規】	一般構造
	5	学科Ⅲ【法規】	耐火・防火
	6	学科Ⅲ【法規】	避難施設等
	7	学科Ⅲ【法規】	内装制限
	8	学科Ⅲ【法規】	建築設備
	9	学科Ⅲ【法規】	構造強度
	10	学科Ⅲ【法規】	道路
	11	学科Ⅲ【法規】	用途地域
	12	学科Ⅲ【法規】	容積率・建蔽率
	13	学科Ⅲ【法規】	高さ制限
	14	学科Ⅲ【法規】	防火・準防火地域
	15	学科Ⅲ【法規】	地区計画・建築協定
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築構造 I	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築構造】の基本を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	学科Ⅳ【構造】	力と釣り合い
	2	学科Ⅳ【構造】	静定構造物
	3	学科Ⅳ【構造】	断面の性質と応力度
	4	学科Ⅳ【構造】	部材の変形
	5	学科Ⅳ【構造】	不静定構造物
	6	学科Ⅳ【構造】	座屈
	7	学科Ⅳ【構造】	振動
	8	学科Ⅳ【構造】	骨組みの塑性解析
	9	学科Ⅳ【構造】	構造設計の基礎
	10	学科Ⅳ【構造】	構造計画
	11	学科Ⅳ【構造】	鉄骨構造
	12	学科Ⅳ【構造】	鉄筋コンクリート構造
	13	学科Ⅳ【構造】	鉄骨鉄筋コンクリート構造
	14	学科Ⅳ【構造】	壁構造・木構造
	15	学科Ⅳ【構造】	その他の構造・建築材料
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築施工 I	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築施工】の基本を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	学科V【施工】	施工計画
	2	学科V【施工】	現場管理・材料管理
	3	学科V【施工】	申請・届出
	4	学科V【施工】	地盤調査
	5	学科V【施工】	仮設工事
	6	学科V【施工】	土工事
	7	学科V【施工】	基礎工事
	8	学科V【施工】	鉄筋工事
	9	学科V【施工】	型枠工事
	10	学科V【施工】	コンクリート工事
	11	学科V【施工】	鉄骨工事
	12	学科V【施工】	PC工事・メーソンリー工事
	13	学科V【施工】	防水工事
	14	学科V【施工】	張り石工事・タイル工事
	15	学科V【施工】	木工事・左官工事
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築計画Ⅱ	指導担当者名	池田 時好	
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有	
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年	
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:	
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間	
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築計画】の応用を身に付ける			
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。			
使用教材	一級建築士テキスト			
授業外学習の方法	テキストの予習			
学期	ターム	項目	内容・準備資料等	
授業計画 前期	1	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ	
	2	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ	
	3	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ	
	4	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ	
	5	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ	
	6	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ	
	7	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ	
	8	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ	
	9	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ	
	10	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ	
	11	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ	
	12	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ	
	13	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ	
	14	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ	
	15	学科Ⅰ【計画】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ	
	16			
	17			
	18			
履修上の留意点				
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない				
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用				

授業計画(シラバス)

科目名	一級環境設備Ⅱ	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【環境設備】の応用を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	2	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	3	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	4	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	5	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	6	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	7	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	8	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	9	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	10	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	13	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	14	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	15	学科Ⅱ【環境・設備】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築法規Ⅱ	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築法規】の応用を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	2	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	3	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	4	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	5	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	6	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	7	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	8	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	9	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	10	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	13	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	14	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	15	学科Ⅲ【法規】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築構造Ⅱ	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築構造】の応用を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	2	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	3	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	4	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	5	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	6	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	7	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	8	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	9	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	10	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	13	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	14	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	15	学科Ⅳ【構造】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	一級建築施工Ⅱ	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 4 時間
学習到達目標	一級建築士学科試験【建築施工】の応用を身に付ける		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	一級建築士テキスト		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	2	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	3	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	4	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	5	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅰ
	6	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	7	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	8	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	9	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	10	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅱ
	11	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	12	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	13	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	14	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	15	学科Ⅴ【施工】	重要ポイント・厳選問題Ⅲ
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	2級建築士演習	指導担当者名	近内 広樹
実務経験	建築施工管理職として4年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科演習を行い、総合的に学習を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	2	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	3	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	4	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	5	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	6	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	7	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	8	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	9	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	10	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点			
出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			
対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	二級設計製図	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実験:
単位数	8 単位	総時間	240 時間 週時間数 30 時間
学習到達目標	二級建築士試験【設計製図試験】の課題を5時間で完成し、合格できる図面を仕上げる。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材			
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	設計製図	製図の描き方
	2	設計製図	作図スピード強化
	3	設計製図	エスキースの手順・練習
	4	設計製図	計画の要点・法規
	5	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	6	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	7	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	8	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			

授業計画(シラバス)

科目名	一級設計製図	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実験:
単位数	8 単位	総時間	240 時間 週時間数 24 時間
学習到達目標	一級建築士試験【設計製図試験】に合格できる図面を仕上げる。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	1級建築士試験 設計製図試験		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	設計製図	製図の描き方・課題文の読み方
	2	設計製図	エスキース
	3	設計製図	エスキース
	4	設計製図	計画の要点
	5	設計製図	作図
	6	設計製図	作図
	7	設計製図	模試試験
	8	設計製図	模試試験
	9	設計製図	模試試験
	10	設計製図	模試試験
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			

授業計画(シラバス)

科目名	卒業制作	指導担当者名	近内 広樹
実務経験	建築施工管理職として4年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	1級建築士専攻科2年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実験:
単位数	4 単位	総時間	120 時間 週時間数 20 時間
学習到達目標	4年間の集大成として、それぞれが設定した課題の制作を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材			
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	課題設定	課題設定を行う
	2	課題設定	課題設定を行う
	3	課題研究	設定した課題について、研究を行う
	4	課題研究	設定した課題について、研究を行う
	5	作品制作	完成に向けて作品制作を行う
	6	作品制作	完成に向けて作品制作を行う
	7		
	8		
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格を得られない			